

絶対王者降臨 (page 19)

NCS Sunday Cup

グランドファイナル2021レポート

Behind the Scenes (page 16)

同時対局イベントの裏話



NCS
Japanchess.org
2022.1.7

NCS Letter 34

“Chess is a great game! I recommend it to everybody.”

- Magnus Carlsen-

Japan Open 2021

入賞者自戦記 ほか



#34

03 | Japan Open 2021

04... 1位
IM 小島 慎也

05... 3位
FM 山田 弘平

07... 4位
FM 青嶋 未来

08... 女子1位
WCM 坂井あづみ

09... 5位
大多和 優斗

10... Up and Coming Players
Scott, Tyler

14 | 第9回九州チーム選手権 in 伊万里
レポート
末次 健太郎

24 | NCS理事選挙
黒坂 雄基

15 | NCS クリスマスチェスパティー
2021 レポート
編集部

26 | NCS理事選挙
推薦状一覧

16 | Behind the Scenes
同時対局イベントの裏話
木下 奏子

28 | Information
1月の配信予定表など

19 | 絶対王者降臨
NCS Sunday Cup グランドファイナル2021
レポート 神田 大吾

30 | 編集後記



駒楽



TRAN THANH TU



KOJIMA SHINYA



YAMADA KOHEI



November 20 (Sat) - 23 (Tue) 2021
JAPAN OPEN 2021

Venue: Shinagawa Ward General Hall "Jyusei" (across from JR Shinagawa Station), Tokyo
 ("Daikaigi-shitsu" 6th floor and other rooms)
 Time Control: 90min/30sec/move, 7 Rounds, Swiss, NCS and FIDE rated



AOSHIMA MIRAI



OTAWA YUTO



SAKAI AZUMI

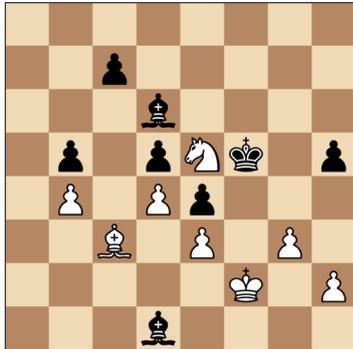


11月20 (土) から23日 (火) の4日間、東京大井町にてジャパンオープンが開かれました。1年ぶりのOTB、そして参加者70名という大規模な大会で見事入賞を決めたのは、小島慎也、Tran, Thanh Tu、山田弘平、青嶋未来、大多和優斗の5名でした (敬称略)。また、1位の小島慎也さんと女子1位の坂井あづみさんは2022年チェスオリンピック日本代表に内定しました。おめでとうございます！

前号では白熱した大会模様とYouTubeでのライブ配信についてお伝えしました。今号では一部入賞者による自戦記をお届けします！日本トッププレイヤーたちの思考を覗いてみてください！

1位：IM 小島 慎也

先日開催されたジャパンオープンから、優勝を引き寄せた大一番の終盤をご紹介します。



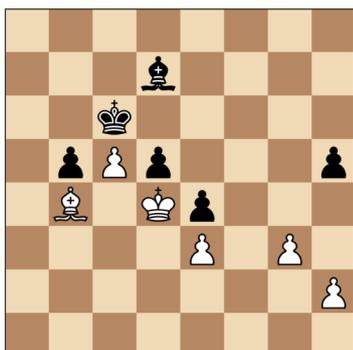
Kojima, S (2389)
Tran, T T (2374)
Japan Open 2021 (6)
Position after 48...h5

少し苦しい中盤を乗り越え、ここまでやってきました。黒にはダブルビショップがありますが、攻撃したり突破したりする場所が十分になく、白は守り切れる局面です。

49.Bd2 Bxe5 50.dxe5 c5!?

ポーンを捨てても異色ビショップにしてドローで満足だという私に対して、Tuさんはポーンを捨て返してきました。これにより黒のbポーンがパスポーンになり、まだ勝負できる状況です。不思議な話ですが、日本の多くのプレイヤーは安全策の50...Kxe5 51.Bc3+ Kd6 52.Bd4=を選ぶでしょう。これならば本譜のようなことは起こらず、ドローで間違いありません。Tuさんが勝負しにきてくれたからこそ、私にも逆転のチャンスが生まれました。

51.bxc5 Kxe5 52.Bc3+ Ke6 53.Ke1 Bg4 54.Kd2 Bh3 55.Ba5 Kd7 56.Kc3 Kc6 57.Kd4 Bc8 58.Bb4 Bd7 (=)



白はビショップでbポーン、キングでdポーンを止めて安全な形に持ち込みました。後は互いにビショップを行き来させていけば互いに何もできずドローです。しかし私はキングサイドのポーンマジョリティを見て、上手くいけば白が勝てるチャンスを作れるのではないかと考え、Tuさんのドローオファーを蹴ってゲームを続けることにします。

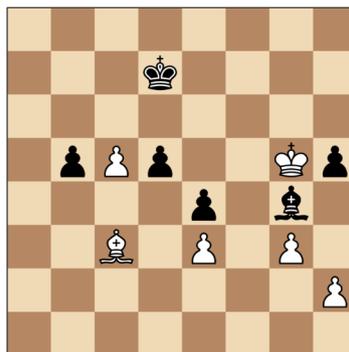
編集部注：棋譜に(=)と書くのは、その手を指してドローオファーしたことを示す。

59.Ke5 Bg4 60.Kf4 Kd7?!

キングを下げる手にはあまり意味が無く、d5-d4のブレイクの際にすぐにKc6-Kd5と入るため、c6に居続けるほうが安全でした。60...Bd7 61.Kg5 (61.Ke5=) 61...d4! 62.exd4 Kd5 63.Kf4 (63.Kxh5? e3 64.Kg5 Kc4 65.Be1 b4+-) 63...Kxd4 64.Ba5 Kd3 65.Ke5 e3 66.Kf4 e2 67.Be1 Kc4 68.c6 Bg4 69.c7 b4 70.Ke3=

黒のドローチャンスは思い切ったd5-d4の突き捨てのみで、まだ白にも間違えて負ける危険が残っています。

61.Kg5 Ke6 62.Bc3! Kd7?



ここでキングが再び下がる手は、d5-d4の仕掛けを遅らせる決定的なミスとなってしまいます。62...b4! 63.Bxb4 d4! 64.exd4 Kd5! 65.c6 Kxc6 66.Bd2 Kd5 67.Be3 Ke6 68.h3 Bxh3 69.Kxh5 Kf5=

63.h3! Bxh3 64.Kxh5+-

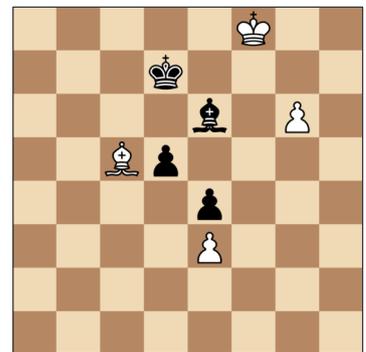
白には念願だった2つの離れた

パスポーンが生まれました。黒はbポーンとcポーンの交換を仕掛けにいきますが、時間がかかるために白キングに決定的なマスまでの侵入を許してしまいます。

64...Kc6 65.Bd4 b4 66.g4 b3 67.g5 b2 68.Bxb2 Kxc5 69.Kg6

69.g6 Kd6 70.Kh6 (70.g7? Be6 71.Kg6 Bg8=) 70...Be6 71.Kg7 Bf5 72.Kf7 Be6+ 73.Kf8+- 本譜は慎重を期してキングを寄せましたが、すぐポーンを突いても勝ちでした。

69...Kd6 70.Kf6 Kd7 71.g6 Be6 72.Bd4 Bg4 73.Bc5 Be6 74.Kg7 Bf5 75.Kf7 Be6+ 76.Kf8 1-0



YouTubeのライブでご覧になっていたかたはずっとドロー模様だと思ったかもしれませんが、勝負は最後まで分からないものです。異色ビショップエンディングの難しさを私も再認識したゲームでした。

今回、久々の国内ビッグトーナメント優勝をととても嬉しく思います。幸運に恵まれた試合も多くあったため、これに満足せずさらに精進していきたいですね。スケジュールが合えば来年のオリンピックも日本代表としてプレーさせていただきたいと思いますので、そちらも応援をよろしくお願い致します。

3位：FM 山田 弘平

昨年11月の全日本選手権以来、実に1年ぶりのOTBトーナメント参加となりました。YouTubeでの配信も用意されており、参加者だけでなく観戦者にも楽しめるイベントになっていたと思います。

これだけ大きな盛り上がりとなったのは、事前に周到な準備をされた運営スタッフ、ボランティアの方々のおかげだと思います。改めて御礼を申し上げます。

我々プレイヤーにとっては、その時できる最善のプレーが盛り上がりにも貢献できる一番の方法です。今大会は長期化したコロナ禍で培ったスキルを試す絶好の場です。個人的には7局通して伸ばしてきたスキルを素直に活かすことができましたし、負けなしの3位入賞という結果がついてきたことで満足いく大会となりました。

ここでは入賞に向けての一番、5ラウンドの中村尚広くんとこのゲームを振り返ろうと思います。

FM Yamada, Kohei (2131)
Nakamura, Naohiro (2111)
 Japan Open 2021 (5)
 [B40] Sicilian Defence 2...e6
 Unusual

1. e4 c5!?

第4ラウンド終了時点で、私が3.5ポイント、尚広くんが3ポイント、トップグループは4戦全勝という状況でしたので、入賞戦線に残るためにはお互いに（特に白を持つ私にとっては）負けられないゲームとなります。

コロナ禍でもオンライントーナメントで何度か対戦しており、尚広くんの得意なCaro-Kannを想定していたのですが、こちらの準備を外そうとしたのか第2の武器であるe6 Sicilianとなりました。

2. Nf3 e6 3. b3!?

レアな定跡ですが、研究勝負よりもチェスの理解度勝負になりやすく、最近愛用している形です。オンラインでも指していますので

尚広くんにとっては驚きのない手だったはずですよ。

3... Nc6 4. Bb2 d5 5. Bb5 dxe4 6. Ne5 Qc7 7. Na3 Nf6 8. O-O

お互いに準備通りですが、次の手が本局最初のポイントになりました。

8... Bd6!?



この手がノータイムだったことに意表をつかれました。白はNac4としたいため、d6にビショップは出づらいところです。8...Bd7などが自然な手だと思いますが、これは相手の準備と考え慎重に手を進めます。

9. Bxc6+ bxc6 10. Nac4 O-O

Bd7と指される前に9.Bxc6として黒のポーン形を乱す選択をします。これで10...Be7と引くようでは11.f3が幸便なので、黒はd6のビショップを見捨ててキャスリングします。

尚広くんはここまでほぼノータイム。あとから聞くとこの10手目までが準備手順で、互角に指せると考えていたようです。私の方は研究範囲外でしたが、局面自体は3.b3のラインでよく現れる形です。黒のポーン形が乱れていること、黒のグッドビショップを消せていること、f3から黒のキングに狙いをつける手があることから、白が良いと考えていました。

事前研究とこの形に対する経験が、真っ向からぶつかり合う勝負となります。

11. Nxd6 Qxd6 12. f3!

準備があるならやってこい、と迫ります。素直に12...exf3とポーンを取ると13.Qxf3 Bb7 14.Rf2 Qd5 15.Qf4のように進んで、次のRaf1やRe1からキングサイドに攻勢をかけるプランが強力です。また、12...Ba6には13.c4、12...Rd8には13.Nc4の組み合わせで対抗します。

黒は白が体勢を整える前に攻めたいですが、c4-Bc3が間に合ってしまうとc8のビショップが活躍できそうにありません。実戦的には白がすでに指しやすいと思いました。

12... Ba6 13. c4 Rad8 14. Bc3

黒は大長考の末、12...Ba6としてきました。部分的には13.c4がピッタリの応手ですが、この瞬間だけは、白の体勢も崩れ気味です。他の候補手として12...Nd7?!と交換を迫る手は、13.Nc4 Qf4 14.Qe1!で次のfxe4が厳しい手になります。

さらに13手目の分岐として、12...Ba6 13.c4 Nd7?も14.Nxd7 Qxd7 15.fxe4 f6 16.e5!で優勢です。12...Ba6 13.c4 exf3 14.Qxf3 Qxd2と駒得に走る手もありますが、15.Bc3 Qg5 16.Rae1!で攻めの体勢を整えた白vs弱点の多い黒の構図になります。これは2ポーン得程度では追いつけないでしょう。

そこで黒はマテリアルバランスを崩してでも、a6のビショップを使います。

14... Nd5!



落ち着いた展開になれば、キン

グサイドの攻めが期待できる白が有利です。本譜は黒が実戦的に最善の選択をしてきたと感じていました。

15. cxd5 Bxf1?

結果的には、自然なこの手が黒苦戦の原因だったようです。単に15...exd5! (15...cxd5!?)もありますが、Ba5のような手に対してRde8としたいのでeファイルをあけます)として16.fxe4?に16...d4!を用意するのが白のミスをもっと期待できる指し方だったでしょう。本譜と異なりc4のマスにはビショップが利いているため、白はNc4とテンポでナイトを逃げる事ができません。

白が有利をキープするためには15...exd5 16.Re1! Rde8 17.Ng4!を発見しなくてはなりません、黒のセンターポーンを使った反撃も十分期待できそうです。

16. Qxf1 exd5 17. fxe4 Rde8

ここまでは15...Bxf1からほぼ一本道の手順です。17...f6に対しては18.Nd3!で白優勢と読んでいました。e4はポーンで取られた方が、c4のマスを活用できるため白にとって有利です。そこで黒はd5にポーンを残しe4をルークで取りに来ますが、この手に対しては上手い切り返しがあります。



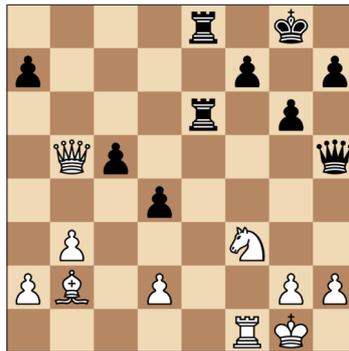
18. Qf5!

18.Qf5!からQd7を狙う手が厳しく、白の優勢を確信しました。ナイト+ビショップvsルークの構図ですが、黒のダブルポーンが白優勢を決定づける要素になっています。18...d4のような手にはいつでも

19.Nc4-Bb2-Ba3があり、マイナーピースのほうが強力な局面です。

18... Re6 19. exd5 cxd5 20. Nf3 d4 21. Bb2 g6 22. Qd3 Rfe8 23. Rf1 Qd5 24. Qb5 Qh5

すでに大きく優勢ですが、次の手を発見したことで本局だけでなく、この後のゲームも自信をもって指すことができました。



25. h3!

相手の反撃を奪って余裕をもって勝つための準備です。オンラインの早指しでは指せない、クラシカルゲームならではの一手です。

以前の自分なら(そして早指しなら)、25.Ba3と直線的に勝ちにいったでしょうが、25...Re2 26.Qxc5?? Qg4! 27.Rf2 Re1+! 28.Nxe1 Rxe1+ 29.Rf1 Rxf1+ 30.Kxf1 Qd1+のような反撃筋があります。反撃に必要なg4マスを先にコントロールしておくことで、白のキングは安全なままになります。

25... Rd8 26. Ba3 Rd5 27. Qb8+ Kg7 28. Qxa7 Rf5 29. Qc7?

時間に追われて指した手ですが、ミスが致命傷にならないのも25.h3の効果です。

29.Bxc5 Rxc5 30.Nxd4 Rf6 31.Ne6!の変化で勝てないか考えていましたが、31...Kh6!の変化を読みきれず、安全勝ちを狙いました。実際には上記の変化でも32.Nxc5!とすれば黒のチェックが続かず白の勝ちです。

29... Qh6? 30. Bxc5 Rxf3 31. Rxf3 Re1+ 32. Kh2 Qxd2 33. Qxf7+

Kh6 34. Bf8+ Kg5 35. Rg3+ Kh4 36. Qxh7+ 1-0

大会全体を通して見れば良い手も悪い手もたくさんありましたが、想定外の展開には一度もならず、落ち着いて局面をコントロールできたのが、個人的な収穫かなと思います。

オンラインでは味わえない緊張感とクオリティ(自分も相手も!)のチェス大会だったので、4日間本当に楽しかったです。一日も早く、このようなビッグトーナメントがたくさん開催できるような日が戻ってきてほしいですね。皆さん本当にお疲れさまでした!

4位：FM 青嶋 未来

今回のジャパンオープンには久々のOTBでの大会ということで、楽しみにしていました。

ただ3日目で負けてしまい、厳しい状況で最終戦を迎えることとなりました。

こういった時にズルズルと崩れずに踏みとどまれるかというのは、プレイヤーとして大事なことだと思っています。

相手のSamuel君には、前回の対戦で敗れており、しかも若いのでさらに強くなっていると考えていたので、タフな戦いになることが予想されました。

試合解説はブログ(*)にもしているのですが、今回はエンディングに焦点を絞って解説しようと思います。

*ジャパンオープン(4日目) | ミライの棋譜ノート (ameblo.jp)

Asaka, Samuel (2254)
FM Aoshima, Mirai (2342)
 Japan Open 2021 (7)
 [E01]

1.d4 Nf6 2.c4 e6 3.g3 d5 4.Nf3 Bb4+ 5.Bd2 Be7 6.Bg2 O-O 7.O-O c6 8.Qc2 b6 9.Rd1 Ba6 10.b3 Nbd7 11.a4 c5 12.a5 Qc8 13.Na3 Bb7 14.Bf4 Ne4 15.cxd5 exd5 16.Bh3 g5 17.Bc1 f5 18.Bg2 Bf6 19.Bb2 Re8 20.Rac1 Qd8 21.dxc5 bxc5 22.a6 Bc6 23.Bxf6 Qxf6 24.b4



黒はd5,f5のポーンに支えられているe4のナイトが強力で、センターを支配しています。ただ、24.b4でb4-b5を狙いつつc5のポーンにプレッシャーをかけてきてい

ます。ここが中盤での大きな分岐点となります。

24...cxb4

24...Rac8 25.b5 Ba8と、ビショップを逃がしてミドルゲームを続け、センターの支配でアドバンテージを取る手と迷いました。後で振り返ると、その方が少し良かった気はしますが、試合中は本譜で十分と見て踏み込みました。

25.Qxc6 Qxc6 26.Rxc6 bxa3 27.Ra1

黒としては、1ポーンアップなのと、a3を取らせる間に1段目にルークを侵入すればBf1でしか防げないので、g4でナイトを追ってNd2とすればビショップを取れるだろうと考えていました。

27...Rab8!?

27...Rac8とする予定でしたが、28.Rxc8 Rxc8 29.Nd4とされて上手く行かないのではと思い、予定変更です。

Nd4の形は、f5取りと、Bxe4~Rxa3でg2を空けてバックランクを避ける手を用意しているので、絶好の活用となります。

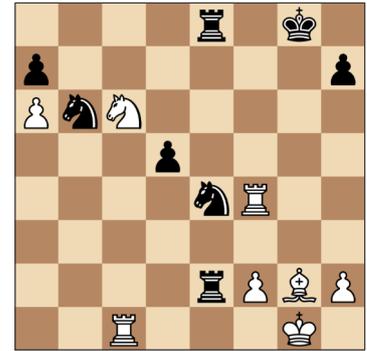
28.Rcc1 Rb2 29.Rxa3 f4

29...Rxe2と取れなければおかしいのですが、30.Nd4 Rd2 31.Nxf5でポーンを取り返されます。しかしこれではa3のポーンを取り返された代償としては不十分で、d5やa7に弱点を抱える黒が不利になってしまったと思いました。

30.Nd4 Nb6

30...Ne5だったかと指した直後に後悔しましたが、それは31.Ra5でd5のポーンが落ちます。

31.gxf4 gxf4 32.Rf3 Rd2 33.Nc6 Rxe2 34.Rxf4



中盤ではキングサイドにプレッシャーをかけ、アドバンテージをもたらしていたはずのg, fポーンを取られてしまいました。負けパターンに入っている感触はありましたが、形勢に大きな差がついているわけではありません。ただ残り時間はお互い数分で、難しい判断を迫られます。

34...Ra2

a7が落ちてa6のパスポーンを伸ばされると負けなので、受けに回ります。ここまで攻めの手を指してきたところなので、本当は34...Nd2でRe1+を狙いたいところですが、35.Bh3で後続がありません。ここはa6のポーンを取って粘りに行く姿勢です。

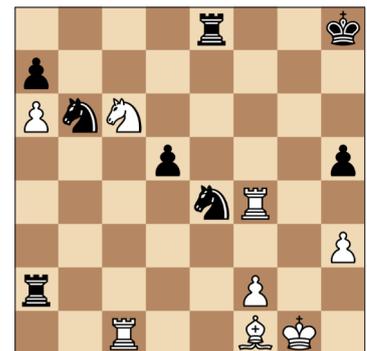
35.Bf1

a6を守る手ですが、なぜか予想していませんでした。ただこれは、白は良しとみて勝ちに来ているだろうと思いました。無難な手は35.Nxa7 Rxa6 36.Nb5=です。ここから試合が動くこととなります。

35...Kh8!

ビショップがf1に移動したので、次にRg8+が厳しい狙いです。

36.h3 h5!?



Rg8+に対するRg4を防いだ手ですが、これは正直、直感的に良くない手だと思いました。ただ時間がなく、指してしまいました。

良くない理由としてはh5のポーン自体が狙われやすいのと、白の36.h3はKh2と上がるスペースも作っているので、この交換自体が白の得になっているからです。

37.Bd3?

しかし、勝負とは分からないもので、逆に勝着になってしまいました。難しい判断となりますが、37.Bg2!と戻り、37...Rxa6 38.Rf5とすれば白が良かったようです。a6のポーンを守っていたビショップを戻すのは抵抗がありますが、

h5のポーンを取られると最終的にf,hのパスポーンを止めるのが難しくなるので、黒にとって痛いのだと思います。

37...Rg8+ 38.Kf1 Nd2+ 39.Ke2 Re8+ 40.Kd1 Nb3

f1にキングを逃げてfポーンを守る狙いだったと思いますが、チェックの連続で白キングが追い詰められてしまいました。

41.Bc2 Nxc1 42.Kxc1 Nc4

エクステンジアップで、メイトスレットも受けにくい形となり、黒勝勢です。

43.Rd4 Ra1+ 44.Bb1 Re1+ 0-1

エンディングに入ってからの攻守の入れ替わりと、時間切迫も含めた勝負のアヤが面白い試合だったと思います。

今大会は、トップボードの中継が個人的には嬉しかったです。海外大会に参加した際には、そこで試合をするのが憧れでした。それが国内の大会で実現したというのは、選手もそうですし、配信で視聴された方も嬉しいと思います。実際、私も最終ラウンドの試合は配信で観戦し、検討で盛り上がりました。

運営、選手の皆さん、4日間ありがとうございました！

女子1位：WCM 坂井 あづみ

ジャパンオープンお疲れ様でした。

本大会は、オリンピアド日本代表に関わる大きな大会で、申し込み時から緊張していました。大会が始まってからは、いつも通り集中して試合に臨むことができ、女子1位という良い成績で終わることができて今はホッとしています。

今回、女性参加者が多く、試合間に交流出来たのが楽しかったです。今後は、みんなで切磋琢磨しながら一緒に成長出来たらいいなと思います。まだメンバーは決まっていますが、来年のオリンピアド女子代表の応援をよろしくお願いします。

About "Chess Olympiad"



チェスオリンピアドって？

チェスオリンピアドは2年ごと偶数年に開催される国別対抗戦です。日本で開催されるものとは比較できないほどビッグスケールな大会で、他競技を含めても最も大規模なスポーツ大会の1つです。世界百数十カ国が集い、年齢や人種、思想、障害を超えて競い合う、チェスプレーヤーにとって夢の祭典です。

日本の成績（オープン部門）は、2016年：68位/180カ国、2018年：58位/185カ国。日本チームは年々強くなっており、世界に引けをとらない成績を残しています！

2020年のチェスオリンピアドはコロナの影響により中止、代わりにオンラインで大会が開催されました。2022年はロシアのモスクワで開催される予定です。OPENRECやYouTubeのNCS公式チャンネルでも実況解説配信があるかも…！？みんなで日本チームや出場選手たちを応援して盛り上げていきましょう！

5位：大多和 優斗

参加者、運営の皆さん、お疲れさまでした。今大会は、面白いゲームをたくさんすることができ、自分のチェスに足りない部分も明らかになったので大満足の大会でした。また、結果も最高とまではいかなかったものの、後半の試合で持ち直し5位入賞できたのはよかったです。

今回は、相手の力強い攻めが印象的だった第3局を紹介します。

Takahashi, Hideaki (1798)
Otawa, Yuto (2128)
 Japan Open 2021 (3)
 [A13] English Neo-Catalan

1.c4 e6 2.g3 Nf6 3.Bg2 d5 4.Nf3 dxc4 5.0-0 a6 6.a4 Nc6 7.Na3 Na5

ここまでが準備の変化でメインラインの8.Qc2 Qd5と進むと少し黒が指しやすくなるという読みでした。次の手は、今まで指されてはいないものの面白い一手だと思います。

8.Ne5 Qd4 9.Nf3 Qc5?

次の白のプランを軽視していました。白はポーンダウンなので駒を素早く展開し局面を開くことで、黒の展開の遅れと黒のクイーンの歪な位置につけこもうとします。9...Qd5として白からのd4を牽制するべきでした。

10.d4 cxd3 11.Qxd3

白は局面を開くことに成功しました。黒はポーンアップなので客観的には互角ですが白のピースのアクティビティを抑え込むために正確に指す必要があります。

11...Nc6 12.Nc4 Nb4?



クイーンを攻撃するBe3を...Nd5として防ぐ狙いですが白はこのナイトをe4として追い払うことができるのでほとんど意味がありません。また、ただでさえ展開が遅れているのに同じピースを何度も動かすのはチェスの原則にも反していますね。ここでは展開を急ぐ12...Be7が正着で、試合中は13.Be3 Qh5 14.Nh4 0-0 15 .Bf3とクイーンがトラップされるのを嫌いましたが、そこで15...Ne5!がありました。展開が遅れていることにもっと危機感を持ち、時間をかけて考えるべきでした。

13.Qb3 Nbd5 14.Nfe5!

次のe4を狙いつつ 中央にナイトを繰り出す力強い一手で、黒は既に受けるのが難しい状況です。

14...b5 15.axb5 Rb8 16.b6!

黒は何とか局面を複雑化しようとしませんが白は正確な応手で隙を与えません。ポーンサクリフェイスで白はテンポを稼ぎ攻めを加速させます。

16...cxb6 17.e4 Nb4 18.Be3 Qb5 19.Qd1?



ここまで完璧な攻めを見せてきた白ですがここで少し手が緩みました。アクティブな位置からクイーンが退却するのは黒に粘る余地を与えてしまいます。ここは19.Bxb6!が明確な白勝ちで、ビショップを取ると20.Ra5でクイーンがトラップされます。

19...Nc6 20.Nxc6 Qxc6 21.Rc1 Qd7 22.Nxb6?! Qxd1 23.Rfxd1 Bb7 24.Rc7 Bxe4!

できるだけ、白の勝ちを難しくします。他の手は分かりやすく白勝ちです。

25.Nd7 Rd8 26.Nxf6+ gxf6 27.Bxe4!

黒のキングへの攻めを続けるためのオンリームーブです。27.Rd8+?! Kxd8 28.Rxf7 Bxg2 29.Kxg2 Be7だと勝つのは難しいでしょう。

27...Rxd1+ 28.Kg2 Bg7?

ここまで粘ってきただけにこのようなお粗末なミスをしてゲームを終わらせてしまったのは残念です。g7のビショップは非常にパッシブで、本来いるべき位置ではありません。28...Kd8と指しておけば白がよいものの簡単に勝つことはできなかったでしょう。

29.Bc6+ Kd8 30.Rxf7 Rd6 31.Bb6+ Kc8 32.Bb7+ Kb8 33.Bc5 Rdd8 34.Rxg7 h5 35.Bc6 Rd2 36.b4 h4 37.Rb7+ Kc8 38.Ra7 h3+ 39.Kf3 Rhd8 40.Bb6 R2d3+ 41.Kg4 R3d4+ 42.Kxh3 1-0

序盤で相手のアイデアを軽視して指してしまったことが悔やまれる一局でした。

今大会では、運営・スタッフの方々のおかげで快適に対局に臨むことができました。ありがとうございました。次の大会でも皆さんとお会いできることを楽しみにしております！



Up and Coming Players

by Scott, Tyler



It is always nice to see new faces at tournaments in Japan, especially when they are able to hold their own against 2000+ FIDE rated opposition. While most of us were focused on the top boards at the Japan Open tournament last year, three lower/unrated players also stood out among their peers and made a strong statement with their play. I am expecting these players to continue improving and become strong contenders at tournaments throughout Japan in the coming years. Thus, in this article I will briefly discuss their Japan Open tournament results and look at one game from each of them.



Okabe, Yuma

- 4.5 points
- 2027 performance rating

Only 14 or 15 years old, Okabe-san is quickly rising to the top among players in Aichi. I first played against him at a blitz tournament in Nagoya last year, and quickly got into trouble on the White side of a sharp Ruy Lopez. I managed to hold a draw, but I think he could have won with a little more precision! He also played in the on-

line Grand Prix rapid tournament last year, and despite never placing very highly there, I think the continued practice against some of Japan's best rapid players has done a lot to improve his chess. I was especially impressed by his play at the Japan Open tournament last year because, despite his 1454 NCS rating, he managed 2.5/3 against players in the 1900-2000 FIDE rating range in the first three rounds of the tournament!

He has a direct attacking style and good opening knowledge for a player his age. Let's see an example of this from the Japan Open tournament:

Sakai, Enju
Okabe, Yuma
Japan Open 2021, 2021 (1)
Scotch Game [C45]

1.e4 5 2.Nf3 Nc6 3.d4 exd4 4.Nxd4 Bc5 5.Nb3 This seems to be the critical line these days, instead of the old 5.Nxc6

5...Bb6 6.Nc3 Nf6 7.Qe2!? This is quite an aggressive setup for White, aiming to castle long and attack on the kingside.

7...0-0 7...a5 is a good alternative for Black, with its own body of theory.

8.Bg5 h6!? 8...Nd4 is also interesting. Play might continue 9.Qd2 Nxb3 10.axb3 h6 11.Be3 Bxe3 12.Qxe3 c6 13.0-0-0 Re8 14.Qd4 Qe7 15.f3 b5[∞] when, with some care, Black should be able to develop his queenside without losing the d7-pawn according to the engine, though optically, White's positions looks preferable to me.

9.Bh4 a5 10.a4 Nd4 11.Qd3 11.Nxd4 Bxd4 is also playable, but looks undesirable because White helps Black get his bishop on a better diagonal.

11...Nxb3 12.cxb3 c6 13.0-0-0 d5 14.Qc2?! Allowing the black pawn to advance with tempo like this isn't a great idea in this position.

14.exd5 is obvious and good. White wins a pawn after 14...g5 15.Bg3 Nxd5 16.Nxd5 cxd5 17.Qxd5 Bg4 18.Qxd8 Rfxd8 19.Rxd8+ Rxd8 20.Bc4± though Black has some compensation due to his piece activity and White's crippled queenside majority. White should be safely playing for two results here though - a win or a draw.

14...d4 15.e5 Qc7! 16.exf6 Qf4+ 17.Kb1 Qxh4 18.Ne4 Bf5 19.fxg7 It's easy to think that White has an edge here, due to his safer king, but Black's bishop pair and lead in development are worth much more.

19...Kxg7 19...Rfe8!± developing with tempo, was stronger. Black doesn't need to take the g-pawn right away, as there are no real threats to his king.

20.Bd3 Bxe4!? This isn't a bad move for Black, but he didn't have to take on e4 right away and could have developed his a-rook instead.

21.Bxe4 Rfe8 22.Bd3 Rad8 23.h3 Qf6 24.g4!? White really wants to attack, but doing so is not without risk.

24.Rhe1 finishing development, was safer, though Black's passed d-pawn means that he will never be worse when pieces start getting exchanged.

24...Kf8 This move wasn't really necessary at this point.

24...Rd5!± preparing to double rooks, and making g5 harder for White to play, was preferable.

25.h4 Re5?! This allows White to generate a dangerous initiative, which he missed during the game.

25...Qf4 was safer, though Black still needs to be careful.

26.Qd2 26.f4! Qxf4 27.g5! is dangerous. For instance 27...hgx5 28.Rdf1 Qg3 29.hxg5 Qxg5 30.Rh7 Re7 31.Qh2! with a powerful initiative, which is worth much more than a couple of pawns in these opposite bishop scenarios.

26...Rd6 27.Rdg1 27.f4!?

27...Qf3 28.g5 hxg5?! Opening things up with the king on f8 looks very dangerous for Black.

28...Ree6 is a slightly odd-looking move, defending the 6th rank laterally with the rooks. After 29.Bc4 Rg6 30.Rh2! preparing to kick the queen with Rg3, Black will have to defend accurately to survive.; 28...h5 is the most obvious move, trying to keep the kingside closed. After 29.g6! however, I would be worried about my king safety as Black.

29.hxg5 Ke7 30.g6 30.Rh7!? threatening to push g6, might be stronger. It is hard to figure out what is going on in this crazy position, but White's much safer king should make him the favorite in a practical game.

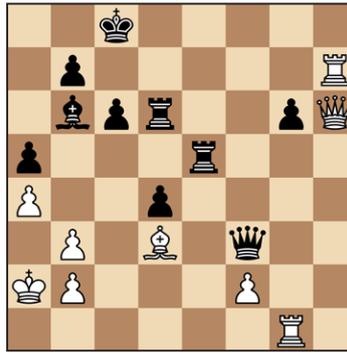
30...fxg6 31.Rh7+ Kd8 32.Ka2?! This move was unnecessary at this point. Why not just grab the b7-pawn?

32.Rxb7 Bc7!? tries to trap the rook out of play. Maybe this is what White was worried about, but the rook cannot be captured, so White should be fine.; 32.Rg3!?! kicking the queen away, is also interesting.

32...Kc8 33.Qh6?! Black seems to get the upper-hand after this move.

33.Rxg6 Rxg6 34.Bxg6 Looks about equal, though with chances for either

side to go wrong.



How can Black defend and force a favorable ending?

33...Rh5! 33...Qxd3? 34.Qg7! Qa6 35.Qxe5+- illustrates why the bishop cannot be taken.

34.Rh8+ Bd8 35.Qf8 Qxf8 36.Rxf8 g5 Black has defended accurately and stands better in this endgame. Despite the opposite coloured bishops, the extra pawn on d4 is clearly felt.

37.Be2 Rh2 38.Rxg5 Kc7?! 38...Rxf2 is better. There is no real danger on the back rank for Black.

39.Rg7+ Kb6 40.Rff7 White appears to be getting good counterplay here, but Black has things under control.

40...d3 41.Rxb7+ Kc5 42.Bf3? After this move, Black is winning.

42.Bg4 was probably the last fighting chance.

42...Rxf2 43.Rgf7?! 43.Bh5 Bf6 with problems on b2, wasn't much better.

43...Bf6 44.Bg4

44...Rxb2+ 45.Ka3 Rb1 White resigned.

0-1



Tanaka, Satoshi

- 3.5 points
- 1991 performance rating

I don't recall seeing Tanaka-san at any other tournaments during my time in Japan, but his NCS rating of 1346 indicates that he has played somewhere in Japan before. In any case, upon playing him, I quickly realized that the only part of his game that matches his low rating is his opening knowledge! He calculates quite well, even under time pressure, and if he can fix his openings, I can see him becoming a very strong player in the future. His game against me illustrates his strengths and weaknesses rather nicely:

Scott, Tyler

Tanaka, Satoshi

Japan Open 2021, 2021 (6)
Italian Game sideline [C50]

1.e4 e5 2.Nf3 Nc6 3.Bc4 h6?! This isn't unplayable, but if one is really afraid of 4.Ng5, he or she should play 3...Bc5 or 3...Be7 instead.

4.0-0 Nf6 5.d4 With this move, I attempted to exploit Black's slow third move by opening the position as quickly as possible. I was out of book here, but figured that playing a Scotch gambit with the insertion of 0-0 and ...h6 should be heavily in White's favour.

5...exd4 6.e5 d5 7.Bb5 7.exf6? is the wrong approach. In this case, ...h6 works out well for Black because after 7...dxc4 8.Re1+ Be6 White doesn't have Ng5.

7...Ne4 8.Nxd4 Bd7 9.e6?! This tempting move is a bad idea, and during the game I couldn't see a way to



get an advantage or even clear compensation for White. However, on tilt from losing the previous game, and wanting to have some fun, I couldn't resist.

9.Bxc6 bxc6 should, in theory, be enough to secure a small advantage for White, as we have a regular Scotch gambit where White's extra 0-0 looks more useful than Black's ...h6.

9...fxe6 10.Qh5+ The point of White's sacrifice, dislodging the king.

10...Ke7 11.Bxc6 Taking with the bishop saves time and allows White to try to exploit his lead in development, but it might not be best.

11.Nxc6+ bxc6 12.Bd3 Nf6 is also interesting, but I don't really believe in White's compensation.

11...bxc6 12.Nc3 12.Re1 sets a trap, but I was sure my opponent wouldn't fall for it: 12...Nf6?? (12...Qe8! looks good for Black.) 13.Nf5#

12...Nf6 13.Qe2 13.Bg5 is another idea, which I considered, but I didn't like 13...Rg8 14.Bxf6+ gxf6 when White has strengthened Black's centre and opened the g-file for his rook.

13...Kf7 With this simple move, Black begins to consolidate. I quickly realized my only compensation would be my control over the e5-square.

14.Re1 Qe8 15.Bf4 Bd6 16.Be5 Rb8 17.Rab1 c5 18.Nf3 Rf8 19.Qd2 Kg8 20.Bg3 20.Bxf6?! Rxf6 21.Nxd5? fails to 21...Rxf3! 22.gxf3 Qg6+-+ (or 22...Qh5)

20...Bxg3 21.fxg3 Bc6 22.Ne5 d4 23.Nd1 Bd5 Black is clearly better by now, and White's compensation for the pawn is basically non-existent. My next move made things even worse.

24.c4?! 24.Nf2 was safer.

24...Be4! For some reason, I overlooked that the bishop could go here.

25.Ra1 Qh5! 26.Qf4

26.Nd7!? might have been better, but I missed it in the game. Black is still on top after 26...Nxd7 27.Rxe4 e5



How should Black continue?

26...Qf5 26...Ba8! maintaining the threats, looks even better. White probably has to play 27.g4 Qh4 28.Qg3 Qg5 29.b3 Ne4+ losing an exchange, because the queen on g3 is tied to the defence of the e5-knight. 30.h4?! Qd2! just helps Black, as White still has to take on e4 to avoid losing the rook on e1.

27.Nf2 Bc2 27...g5! would force White to exchange on f5, improving Black's structure and cementing the bishop on e4.

28.b3 Rbd8 29.Nc6 Qxf4 30.gxf4 Rd6 31.Ne5 Rfd8 31...d3! avoiding White's blockade on d3, was the critical try. I planned to play 32.Rec1 and pray that my opponent wouldn't find a way to win, due to the awkward bishop on c2.

32.Nfd3 Ng4!? 32...Bxd3 33.Nxd3 Nd7 34.Re2 a5 35.Rae1 Kf7 might have been better, but it isn't clear how Black will convert his advantage with White's knight on d3.

33.Nxc5 Nxe5 34.fxe5 Rc6 35.Ne4 d3 35...Bxe4?! 36.Rxe4 d3 37.Rd1 is nothing to worry about for White, and Black may even have to be careful here due to his worse structure.

36.Nd2 Kf7 37.Re4 g5!? weakening the f6-square like this gives White unnecessary counterplay, which could even become dangerous in time trouble.

38.Rf1+ Kg7 39.h4! Ra6 Black goes after White's queenside, but I think White has at least enough play at this point to not have to worry about it.

40.hxg5 hxg5 41.Rg4 Kh6 42.a4 We were both in time trouble at this point, so, unsure about my attacking chances

on the kingside, I played the safe move. From here things became rather hair-raising for both sides, as Black constantly has to be careful not to get mated, while White has to be careful about the d-pawn promoting.

42.Ne4! was more to the point, after which Black has to defend with 42...Rg8

42...Rb6 43.Rf6+ Kh5 I was pretty confident I would find a way to win at this point, but it wasn't obvious, and my opponent defended well.

43...Kh7 might be safer, but it loses the g-pawn.

44.Rg3 44.Re4! is winning, according to the engine, but I missed it in time trouble. As an exercise, try working out what happens after 44...g4 (44...Bxb3?? 45.g4+ Kh4 46.Kh2 is mate on the next move.)

44...g4! 45.Rf4 Bd1! A nice defensive resource. I was getting annoyed that I hadn't found a way to win by this point.

46.Kf2 Rbb8 47.Re3 Bxb3 48.Kg3 Bd1?? Now White actually is winning, but I failed to find it in time trouble.

48...Bxa4 is apparently fine for Black after 49.Re1 Rg8 50.Rh1+ Kg6! but I am sure that neither of us considered this line, especially in time trouble. (50...Kg5?? gets Black mated after 51.Rxg4+ Kf5 52.Rh5+)

49.Re1 Be2 50.Rf6! creating a mating net.

50...Rd4 This stops Ne4, but White doesn't need to use the knight to give mate.

50...Rb2 51.Ne4 was my idea, with Rh1 coming next.

51.Rh1+ Kg5 52.Rh7?? A lucky escape for the Black king! Thinking there was no mate, and fearing ...Rb2, I thought I had to settle for a perpetual.

52.Rfh6! is simply mate next move! I was so fixated on giving mate from behind the king that I completely overlooked that it was possible to do so from the side! We even missed this in the post-game analysis! White has

to realize that after 52...Kf5 53.R1h5# defends the pawn on e5, and that the knight prevents the king from escaping via e4.

52...Rb2 53.Rg7+ Kh5 54.Rh7+ Draw agreed. This was an appropriate result to this complex game, as White was lucky to survive the middlegame, while Black was lucky not to get mated later on. Both sides missed many chances, and in the end, were happy to split the point

½-½



Otsuka, Shou

- 5 points
- 2071 performance rating

Otsuka-san, unrated in both FIDE and NCS tournaments, came out of nowhere and surprised everyone with an impressive 5/7 points! I played him in the second round of the Japan Open tournament, and unfamiliar with the opening variation, ended up worse as White and only managed to win because he let me off the hook later on!

I conversed quite a bit with him between games, and learned that he started as a shogi player, and came to chess relatively recently, playing most of his games online. Starting with shogi is rather common among chess players in Japan, and many of these players have strong calculation skills because the tactics in shogi are more complex.

The following game nicely illustrates Otsuka-san's calculation and attacking skills:

Otsuka, Shou
Farfurnik, Sasha
Japan Open 2021, 2021 (7)
2.Nc3 Sicilian [B23]

1.e4 c5 2.Nc3 e6 3.Nge2 Not showing his cards right away, Otsuka-san plays a flexible developing move, allowing Black to develop further before deciding if he will play d2-d4 or not.

3...Nc6 4.g3 a6?! This move isn't great here, because if White decides to go with a closed Sicilian set up, Black will probably find that playing ...a6 was a waste of a tempo.

5.Bg2 b5?! This is a typical move in Black's setup, but here it seems to weaken the long diagonal. Black would probably be better off developing more pieces first.

5...e5!? weakens d5, but is an interesting way to try to punish White for delaying d2-d4. The game would take on a closed nature, much different from what happened in the actual game.

6.d4 cxd4 7.Nxd4 Nxd4?! Centralizing the white queen like this gives Black development problems that are not at all easy to resolve.

7...Bb7 looks safer, but I still like White's prospects.

8.Qxd4 Bb7 9.0-0 Rc8 10.Re1 h5 Black has problems developing his kingside due to the pressure on g7. He therefore tries an original development scheme, but doesn't manage to equalize.

10...Nf6 11.e5± is awkward for Black.; 10...Ne7 11.Bf4 Nc6 12.Qd2± leaves Black vulnerable on the d6-square.

11.h4 Nh6 12.a4 b4 13.Nd5! The thematic Sicilian sacrifice! In this case, however, Black cannot get away with taking the piece, so it isn't really a sacrifice...

13...Ng4 13...exd5?? 14.exd5+ Be7 15.Bxh6 Rxh6 16.Qxg7+- is game over for Black.

14.Re2 Rg8? After this move, the Black king will never find a safe haven.

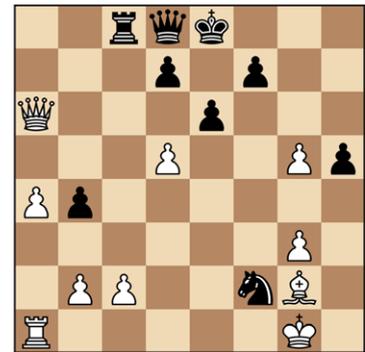
The computer calmly thinks Black is fine after 14...a5 when 15.Qa7 Bxd5

16.exd5 Bc5 17.Qb7 Bxf2+ 18.Rxf2 Nxf2 19.Kxf2 Rxc2+ 20.Kg1 0-0 21.Bg5 f6∞ seems quite fine for Black. He might even be better due to his extra pawns, though both sides should be careful here.

15.Qa7 Bxd5 16.exd5 Bc5 17.Qxa6 g5? This only weakens Black.

17...Bxf2+? is also unconvincing, because after 18.Rxf2 Nxf2 19.Kxf2 Rxc2+ 20.Kg1+- in contrast to the similar variation analyzed above, White has a dangerous passed a-pawn here.; 17...e5!? might be the best try here. Black's position looks quite loose, but he might be able to hang on for a while because White cannot play f3 immediately.

18.Bxg5 Rxg5 19.hxg5 Bxf2+ 20.Rxf2 Nxf2



White to play and win

21.Rf1! A nice move from Otsuka-san, highlighting the fact that an attack against Black's exposed king is worth much more than an extra piece here! Black is unable to defend this position.

21.Kxf2 Rxc2+ 22.Kg1 Qxg5 is also winning for White, but gives Black unnecessary counterplay.

21...Ng4 22.g6! Rxc2? 22...Qc7 aiming at g3, was probably the last chance for Black, but White wins easily after 23.g7 Nh6 24.dxe6 dxe6 25.Rf6!

23.gxf7+ Ke7 24.f8Q+ Qxf8 25.d6+ Black resigned.

1-0

I hope you enjoyed learning a little bit about these three promising players. Watch out for them in future tournaments!

第9回九州チーム選手権

in

伊万里

レポート

九州の北西部に位置する伊万里市では、伊万里チェスクラブ主催によるチェス大会を毎年開催しています。この大会の特徴は3人1組の団体戦であることと、大会で使用する駒が全てやきもの(陶磁器)だということです。伊万里市と隣接する有田町、さらに周辺の地域を合わせて「肥前窯業圏」と呼んでいるくらい、やきものは伝統産業となっています。そのやきもので作ったチェスの駒(有田焼チェス駒)を使用する大会は、国内でも他に例はありません。

しかし、今年も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年6月に開催していたのを一旦延期し、11月の最終日曜日に変更しました。さらに、大会5日前に落成式を終え、開館したばかりの大坪コミュニティセンター(旧:大坪公民館)へ会場を変更しました。実は、このコミュニティセンターでは、放課後子ども教室の一環として、地元の小学生を対象としたチェス教室を開催して、会員が指導を行っています。併せて、チェスクラブの例会も月1回開いています。活動の拠点が新しくなって、まだ木の香りが残っているような会場で大会を開催できたことは、会員にとっても喜ばしいことです。

参加したのは福岡チェスクラブ、久留米チェス同好会と伊万里チェスクラブ、合わせて12名でした。伊万里チェスクラブには伊万里市在住の会員だけでなく、唐津市や長崎県からも参加しています。そこで、市内と市外のメンバーで2チームに分かれ、合計4チームで総当たり戦を行いました。3回の対局の間には、以前有田ポーセリンパークのツヴィンガー宮殿チェス大会に参戦した熊本県のプレーヤーが、ツー



リングの合間にやって来て、1局指していくというサプライズの参加もありました。

今回使われたチェス駒は12種類の有田焼です。「辰砂(しんしゃ)」という高度な施釉技術を使ったものや、鮮やかな金ラインが入った「黒釉」と「白釉」。さらに手描きの更紗文様や市松文様など美しい意匠の作品が揃いました。ちなみに、やきものと言っても強度はあるので、持って動かしたり、駒同士が当たったりするくらいでは割れません。

さて、大会は2回戦が終わった段階で福岡チェスクラブと伊万里チェスクラブが2勝で並び、最終戦に勝った方に栄冠が訪れます。悲願の初優勝を目指して伊万里チームも奮戦しましたが、福岡チームの自力が勝り、見事3対0と直接対決を制した福岡チェスクラブが優勝しました。

前回の大会に引き続き、NCSのガイドライン改訂版を参考にしてコロナ対策を実施しました。対局時の感染防止シールドを置かない代わりに、参加時の検温、対局毎の駒の消毒と換気、マスクの着用など徹底しました。久しぶりに直接会って、一緒に安全にチェスを楽しむために、会員も積極的に取り組み、また参加者も協力してくれました。他の大会でも運営する側と参加する側が協力して、安全にチェスを楽しんでくれることを期待しています。

伊万里チェスクラブ 事務局長
末次健太郎





クリスマスチェスパーティー2021

12月18日、年末恒例のチェス大会が2年ぶりに東京の「きゅりあん」で開かれ、直接顔を合わすチェスを楽しみました。コロナ禍による施設側の人数制限の解除を受け、予定したより多く、52名の方を集めることができたことは幸運でした。飲食禁止の検討室もあり。何の変哲もない普通のチェス大会です。でも、その普通がどんなに待ち遠しかったことか、その普通がこんなに素晴らしかったなんて！

初参加の方から「私たちが参加してもいい大会ですか？」とのご質問。はい、招待制大会以外なら誰でも参加していいのです。プロとアマ、初心者と強豪の垣根はありません。オンライン・チェスがメインの初参加者から「心臓の音が聞こえるくらいの緊張感、でもそれがすごく楽しい」のご感想。そう、「オンラインと全然ちがう」のです。



大会結果は次の通り、小川さんと横尾さんの同時優勝となりました。ラウンド数が足りずお二人が当たらないためです。横尾さんはアービターとして優秀ですが、この大会で強豪プレイヤーの証明もされました。小川さんは最近の日本チェス界で期待の若手のお一人で、貫録の優勝と言ってよいでしょう。

盤上では敵どうし。しかし戦いが終われば同じチェスを愛する者どうし、尊敬し合える仲間としての参加者たちがそこにいました。チェスには年齢、性別、立場、人種のちがいなって問題になりません。クリスマスに似合う競技って、もしかしたらチェスではないでしょうか？（山田 明弘）

オープン1位 小川 トミーさん

Christmas chess party was a successful tournament. I won all 4 rounds, but all of them were against tough players. I'm thankful to the staff of NCS for providing us a good venue and safety for our playing ground. Their efforts made us play more comfortably. They ventilated the air and disinfected the pieces we used. Thank you NCS for protecting our health!



オープン1位 横尾 秀幸さん

クリスマスチェスパーティー2021にプレーヤーとして参加させていただきました。今回の大会参加に当たっての目的は2つありました。

1つはプレーヤーとして、日々のトレーニングの成果を確認することでした。結果としてラウンド数やペアリングの幸運もあり、4勝で同率優勝することが出来ました。同じく4勝の小川トミーさんと当たれなかったのは残念ですが、今後挑戦できる機会を楽しみにしています。

もう1つの目的はアービターとして、大会運営を選手側から実体験してみることでした。徹底した感染対策をとりながらもスムーズな大会進行をしていただき、大変快適にプレイすることが出来ました。今後スタッフ側で携わるときには、このような大会に出来るように尽力したいと思います。

最後になりますが、参加者の皆さん、運営スタッフの皆さん、素晴らしい大会をありがとうございました。

オープン

- 1位 小川 トミー 4.0
- 1位 横尾 秀幸 4.0
- 3位 多賀 裕登 3.5

U1500

- 1位 岡本 直人 3.0
- 2位 小嶋 秀幸 2.5
- 3位 Lessel Stewart 2.0



◀ 左から横尾さん、小川さん、多賀さん

小嶋さん、岡本さん ▶
(Lesselさんは表彰式欠席)





Behind the Scenes

同時対局イベントの裏話

日本チェス界を盛り上げたGM Anish Giriによる同時対局イベント。対局後のAnish本人の試合レビュー、インタビュー動画の公開に先駆け、この日Anish宅に派遣された現地スタッフが見た同時対局当日のAnish宅でのちょっとした舞台裏の様子をお届けします。

イベント当日。カメラや三脚などの機材などを抱え、自転車でAnish宅へと向かいました。日本側との待ち合わせスケジュールぎりぎりの時間に到着してしまったため、すぐにミーティングに入ってもらわないと、と焦っていたのですが、到着するなりAnishから「もうZoomにも入ったし、カメラの準備も整ってるから、大丈夫大丈夫〜。さあさ、どうぞ上がって！」と言われ、ホッとしました。

リビングではSopikoさんが次男のMichaelくんを抱えて身支度をしているところでした。「急用が入ってしまって、こんな予定ではなかったんだけど、ごめんなさいね〜」と、言いながら、彼女の出身国ジョージアのお菓子チュルチュヘラを出してくれました。

私の方からも手土産で持ってきていた日本のカレーをお渡ししました。事前に下調べをして、日本のカレーが大好きだという情報入手していたので、喜んでもらえました。

その後も「これとっても美味しいから、絶対食べてね！そこに山積みになっているチョコレートも…（中略）私は今から出かけないといけないけど、飲み物はAnishが用意してくれるわ。ね？Anish？」と、文字通りアットホームな雰囲気。家に到着するまでの緊張がスルスルと解けていきました。

と、そこに配信のスタンバイをしているスタッフさんから「Anishはどうした？早くZoomに入るように言ってくれ！」とのメッセージ。Zoomにも入っているし、カメラもセットできていると言っていたが、それはAnishの個人的な準備のことで、実際にミーティングに入っているわけではなかったようです。

呑気にお茶を淹れてもらっている場合ではないではありませんか…！



ジョージアのチョコレート
Sopikoさんのお勧め（紫）を1つ頂きました



写真を撮ってもいい？と聞くと「もちろ〜ん！」とポーズを取ってくれたSopikoさん

しかし、Fashionably lateとはまさにこのことで、ひとり焦っている私を横目に「大丈夫大丈夫〜」とどこまでも余裕モードのAnish。配信の開始時間が刻々と迫る中、お茶を淹れ終わったAnishはようやく彼の仕事部屋へと向かいました。

セッティングが終わったあと、また部屋から出てきて私のWifiの設定などを手伝ってくれながら、「オンラインでこういう（相手が全員マスターのような）同時対局はしたことないから、結構難しいんじゃないかな。楽しみだよ」と、話していました。今度はちゃんと時間を確認し、対局が始まる時間の前に部屋へと戻ってくれました。

ドアを閉め、しばらくすると配信の画面にAnishの姿が映りました。私はその彼の自宅にいて、たった数メートル先の部屋にいるにもかかわらず、いつもネットで見ると、どこか遠いところで起こっている出来事のように感じられました。

インタビューの準備等をしていたらあっという間に時間が経ち、対局を終えたAnishの部屋から彼の声が聞こえてきました。対局した3人のプレーヤーの方々に簡単な解説や感想、日本のチェスファンに向けてのメッセージを残してくれていたようです。

部屋から出てきたAnishは「ふ〜っ」と息をつき、「上手くいった？よかったよかった」と、にっこり。

長男のDannyくんのお迎えがあるので、30分後には家を出ないといけないということで、駆け足でインタビューを行いました。インタビューの動画は近々公開

になると思いますので、もう少しだけお待ちください。

オランダでは、小学生（低中学年）は必ず保護者が送り迎えをします。Anishは天気予報を見て雨が降らないことを確認して、Dannyくんのお迎えにいきました。私ひとり、Anish宅でお留守番するという謎のシチュエーション。ふと窓の外を見ると、雨が降っていました。

ドアが開く音がし、Dannyくんとロシア語で話しかけるAnishの声が聞こえました。荷物もまとめ終わり、ふたりが帰って来たらすぐに撤収するつもりだったのですが、「次に予定がないんだったらお茶でもしていきなよ」とAnish。ではもう少しだけ...と、荷物を置き、一緒にテーブルにつきました。

見知らぬ人がいて警戒しているのか少し無口なDannyくんでしたが、オランダ語で話しかけると、学校の様子や、好きなレゴのことなどをポツポツと教えてくれました。Anishも、チェス以外だったら心理学に興味があること、オランダでは街を歩いても全く声を掛けられたりしないこと、日常や子どものことなど、パンをつまみながらリラックスして話してくれました。

最後にはDannyくんのお気に入りのレゴのチェスセットで、親子のチェスゲームを披露してくれました。Anishが自分の駒をわざと取られてしまう場所に動かし、少し考えた後にキラキラした目で駒を取るDannyくん。「普段（Dannyの）オープニングはもう少ししっかりしてるんだけどね！」と、Anishのお父さんとしての一面も見れて、微笑ましかったです。

予定していた時間を大幅オーバーした滞在になったにも関わらず、とても優しく、ユーモアも交えながら最後まで素敵な時間を共有してくれたAnish。これからも世界のトッププレイヤーとして、皆さんも名前や試合を目にする機会がたくさんあるでしょう。日本のカレーを愛する仲間として、そして日本のチェスのために今回のような企画を快諾してくれたことへの感謝と共に、今後はさらに注目して応援していきたいと思います。



NCSレター編集部長
木下 奏子

オランダ・ハーグ市在住で、NCSレターの制作やその他のボランティアのお仕事に携わらせていただいています。

絶対王者降臨

NCS Sunday Cupグランドファイナル2021 レポート

オンラインによるラピッド大会
NCS Sunday Cupは、今年の5
月から半年以上かけて行われ
た長丁場の競技会です。

まず5月9日と23日に、NCS会員ならば誰でも参加できる予選Open 1とOpen 2が開かれ、それぞれ上位3名の計6名が次のステージに進みました。

グランプリ（GP）形式で競う本戦は、6月6日、7月11日、8月22日、9月12日、10月17日、11月14日の計6回行われました。各回ともスイス式5ラウンドで、1位が10GPポイント（p）、2位が7p、3位が5p、4位～5位が3p、6～7位が2p、8位以下が1pを獲得し、全6回の内、3つのベストpの合計の高い上位6名がグランドファイナルに進出する、という形式です。前述の予選通過6名と、招待選手14名（昨年のNCS Rapid Online Championship 2020でファイナル進出の6名と、2021年4月1日発表のNCSレーティング上位順で参加希望の8名）の合計20名が出場し、6枚のファイナル行きチケットを争奪しました。

つわものたちがしのぎを削った結果、IM 南條遼介（30p）、FM 山田弘平（19p）、CM Tran, Thanh Tu（18p）、FM 青嶋未来（15p）、FM 馬場雅裕（14p）、Scott, Tyler（14p）の6名が最終決戦の場に駒を進めたのでした。出場した5回の内、4回も1位となった南條が優勝候補の本命で、彼を誰が止めるのかがファイナルの関心の的となりました。

2021年も押し詰まった12月19日、グランドファイナル開催。5ラウンドの総当たり戦（ラウンドロビン）で、持ち時間は15分+10秒/手です。YouTubeでの実況解説はおなじみのコンビ、篠田太郎とIM 池田惇多です。冒頭から出場選手のインタビュー動画が配信され、日本のオンラインチェスの頂上決戦に華を添えました。



シシリアン祭り

First round

南條遼介 1-0 Tran, Thanh Tu

青嶋未来 1-0 Scott, Tyler

馬場雅裕 1-0 山田弘平

Second round

Tran, Thanh Tu 1-0 山田弘平

Scott, Tyler ½-½ 馬場雅裕

南條遼介 1-0 青嶋未来

初めの2ラウンドの6局中、なんと5局がシシリアン・ディフェンス (1.e4 c5) となり、さながら「シシリアン祭りですね」(池田)。下図はその中の1局、馬場 vs 山田戦の16.Nf3 Kh8まで。



ここから 17.e5 Ne8 18.Bxe7 Qxe7 19.Nb6 Rb8 20.Nxc8 Rxc8 21.f5



と進み、この先、たった5手、26手までで白が勝利しました。戦略上の拠点を一つずつ丁寧に抑え、黒に反撃の糸口を与えないよう細心の注意を払いながら味

方の駒を中央に集結させ、準備万端を整えてから白が攻めかかり、黒を一気に押し潰す。まさに「シシリアンに対しては、こう指せ」の模範演技でした。世の中のシシリアン愛好家はきっと顔面蒼白、背筋に寒気が走ったことでしょう。ブログ[Behind the Scene](#)に載った馬場の自戦解説は必読です！

結局、シシリアンの5局は白の5勝。シシリアンにとって受難の前半戦となりました。

エンディングの超絶技巧

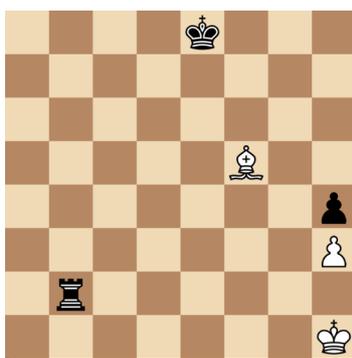
Third round

青嶋未来 0-1 Tran, Thanh Tu

馬場雅裕 0-1 南條遼介

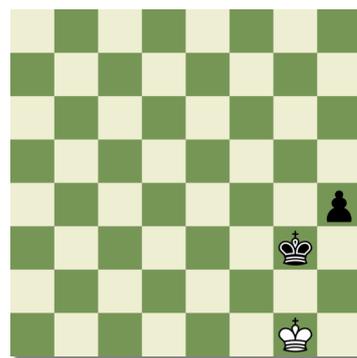
山田弘平 1-0 Scott, Tyler

初戦から2連勝した南條は、第3Rで圧巻のパフォーマンスを披露してくれました。



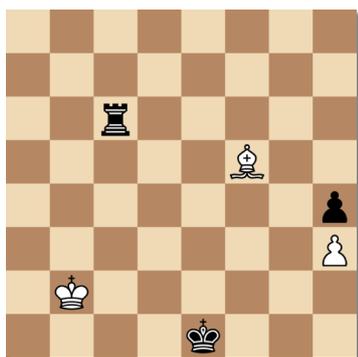
図は馬場 vs 南條戦の49.Bxf5 Rb2まで。ルーク対ビショップで、理論的には黒が勝つ局面ですが、言うは易く、行うは難し。白はビショップとポーン(h3)が同じ白マスで守り合うので、黒が打開してパスポーンを作るにはルークを切ってビショップとポーンを取り除くしかありませんが、すぐには取れません。

なぜなら、



上図のようになると、白キングがg1⇔h1を往復し、スタイルメイトのドローとなるからです。黒が勝つには、g1のマス黒キングが抑えられる形にしてからルークを清算しなければなりません。当然、白はそれを阻止するため、キングを盤の右側 (g1に近い場所) に置こうとします。そこで黒は、ルークを回して「詰める」(将棋用語で、「次にチェックメイトになる」狙いの手) をかけたり、チェックしながらビショップをタダ取りする狙いをからめながら白の指し手を限定し、白キングがやむなく左側 (g1に戻れない場所) に行くよう仕向けねばなりません。しかも、50手ルール (50手経過しても駒の数が変わらなければドロウ) があるので、無駄な手は指せません。ゲームの終盤で疲労困憊する中、1手10秒でこのタスクをこなすのは極めて困難ですが、南條は見事にやってのけます。

50.Kg1 Ke7 51.Kf1 Kf6 52.Bg4 Ke5 53.Bc8 Kf4 54.Ke1 Kg3 55.Kf1 Rf2+ 56.Ke1 Rf7 57.Ke2 Re7+ 58.Kf1 Rc7 59.Bg4 Rf7+ 60.Ke2 Rf4 61.Ke1 Kg2 62.Bc8 Re4+ 63.Kd2 Kf2 64.Kd3 Re8 65.Bf5 Kg3 66.Kd4 Kf4 67.Bg4 Rd8+ 68.Kc3 Kg3 69.Kc2 Rd4 70.Be6 Kf4 71.Bg4 Ke5 72.Bf3 Kf4 73.Bg4 Ke3 74.Be6 Rd2+ 75.Kc1 Ke2 76.Bf5 Ke1 77.Bg4 Rd4 78.Be6 Rd6 79.Bf5 Rc6+ 80.Kb2



盤面でご覧のとおり、とうとう白のキングがへき地に追いやられました。あとは黒の収束を待つばかり。

80...Kf2 81.Bd7 Rc7 82.Be6 Kg2 83.Bf5 Kh2 84.Kb1 Rc3 85.Kb2 Rxf3

0-1

1手10秒で35手を指して華麗にフィニッシュ。実況のIM池田が「神ですね」と舌を巻いた超絶技巧を駆使して南條が勝利。これで3連勝です。

エンディングの詳しい解説は、前述のブログ [Behind the Scene](#) をご覧ください。61手目は...Rxf3で黒の勝ちだが「お互い見逃していたのは奇妙です」(馬場)。弘法も筆の誤りですね。

首位の南條を追う二番手同士、青嶋vsTu戦も見ごたえのあるゲームとなりました。図は25.Ke2 Ba6まで。



黒がc4に駒の利きを足してポーンを取ろうとしたこの局面で、白の青嶋は

26.Rh3

と指しました。相手の言いなりに単純に守ったりせず、「一本、利かす」(intermediate move) のが戦いのコツではありますが、正着は26.Kd1でした[Fritz]。利くはずの手が、実は利かなかったからです。

26...Nxc4 27.Nxc4 Bxc4+ 28.Kd1



28...Bb3+!

YouTube解説の二人が思わず歓声を上げた妙手が飛び出しました。このビショップは取れません。なぜなら、[29.Qxb3 gets mated. 29...Ra1+ 30.Ke2 Qe1+ 31.Kd3 Qxf1+ 32.Kd2 Qe1+

33.Kd3 Qe3+ 34.Kc4 Rc1+ 35.Kb5 Qxb3+ 36.Ka6 Qa4+ 37.Kb7 Qc6+ 38.Kb8 Qc7+ 39.Ka8 Ra1# - Fritz]

29.Ke2 Qxh3 30.gxh3 Ra2 31.Qxa2 Bxa2



26手目から数えてわずか5手で、盤上の様相は一変しました。白から見てポーンの数に5対6と少ないだけでなく、形が悪い(hのダブルポーンに加え、自分のビショップと同じ白マスにポーンが多く位置し、ビショップを動かすにくい)ので、黒が勝勢です。青嶋はそれでも懸命に粘りましたが、58手目で刀折れ、矢が尽きて無念の投了。首位戦線から脱落しました。

28...Bb3+!は、その後の31...Bxa2まで読み切った上で、果敢に踏み込んだ手でした。ラピッドとは思えない深い読みの入った濃密なゲームで強敵をねじ伏せたTuが2ポイント目を上げ、星1つの差で南條を追走する展開となりました。

横綱相撲

Fourth round

Tran, Thanh Tu ½-½ Scott, Tyler

南條遼介 1-0 山田弘平

青嶋未来 1-0 馬場雅裕

続く第4Rでは、独走する南條にストップをかけるべく、山田が挑みました。序盤から一進一退の攻防が繰り広げられ、迎えた18手目が下図の局面です。



今、白が18手目でRc1-c2と上がり、cファイルにルークを重ねようとした局面です。これに対し黒は、

18...Qf8

ここで18...Qb8ならば、白が指しやすいものの、ほぼ互角の形勢でした [Fritz]。クイーンが狭い位置に行くのは心理的に相当に指しにくい手ですが、それでもそう指すべきだったのは、

19.Rc7

があったからです。直前でRc1-c2と指したばかりなのに、すぐ

またRc2-c7と指す。「同じ駒を何度も続けて動かしてはいけない」というセオリーに反する、理外の理。南條は柔軟な発想で、黒のスキを的確に突きました。そして…

19...Bc8 20.Rfc1 Bf6 21.Rxf7 Qxf7 22.Qb4 Qd7



23.Nc3!

「休んでいる駒を動かせ」という、ここはセオリーどおりの好手です。白で唯一の遊び駒だったナイトに喝が入り、全軍が躍動。形勢が大きく傾きます。

23...Ng7 24.Nb5 Ne8 25.Nxa7 Qd8 26.Bb6 Qd7 27.Bb5

1-0

キングス・インディアンのクラシカル・システムを思わせる形で、白の圧勝となりました。

この第4R、2位で追うTuがTylerと引き分けたため、差が1.5ポイント差となり、最終ラウンドを待たずに南條の優勝が決まりました。

このグランドファイナルは、日本で最高峰の戦いです。順位争いとは別に、刮目させるゲームが目白押しでした。例えばこの第4R、青嶋vs馬場の46.Bb5 Rc3の局面をご覧ください。



d7に深く進んだパスポーンが勝負を決めますが、どうすればこれをクイーンに昇格できるでしょうか？

47.Re8 Nf7 48.Ne2 Rd3 49.Re7 Kf6 50.Rxf7+ Kxf7 51.Bxc4+

1-0

「パスポーンを昇格させるぞ」の狙いで黒の駒を釣り出し、綺麗な両取りをかけてゲームセット。「スレット（狙い）は、実現するよりもスレットのままの方が効果的である」とはまさにこのことでしょう。深く印象に残るゲームでした。

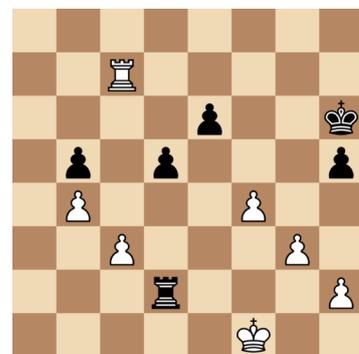
Fifth round

馬場雅裕 ½-½ Tran, Thanh Tu

山田弘平 0-1 青嶋未来

Scott, Tyler 0-1 南條遼介

最終戦のTyler vs 南條は白熱しました。40手近辺まで形勢互角の、じりじりとした展開が続き、その後の黒の指し手に一失あり、46.Rxc7 Rd2となった局面。





Taro SHINODA



Tran Thanh Tu



Ryosuke Nanjo



Baba Masahiro

▲ 大会後のインタビューの様子

ここではポーンの数で5対4で、白のTylerが優位に立ちました。ただ、46...Rd2はh2のポーンを取ろうとしています。さて、どうするか...

47.h3

47.Re7で白が優勢 [Fritz]。

47...Rc2 48.Rc6 Kg7 49.Rc5

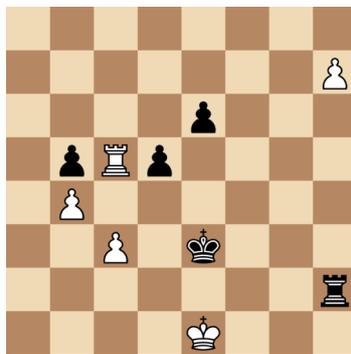
49.Rxe6 Rxc3 50.Kf2で白が指しやすい [Fritz]。

49...Kf6 50.g4 Rh2 51.gxh5 Rxh3 52.Kf2 Kf5 53.h6 Kxf4 54.h7

54.Rxb5 Rxh6 55.Kg2で形勢互角 [Fritz]。白はここで「貯

金」を使い果たし、そして、

54...Rh2+ 55.Ke1 Ke3 !



エンディングでは「キングが最強の攻め駒である」と改めて思い知らされる展開です。メイトの狙いを見せられながらポーンをむしり取られ、白はなすすべがありません。勝負ありです。

56.Kd1 Kd3 57.Kc1 Rxh7 58.Rxb5 Kxc3 59.Kd1 Rh1+ 60.Ke2 Rb1 61.Rb6 e5 62.b5 Kc4 63.Re6 e4 64.b6 Kc5 65.Ke3 Rxb6 66.Re8 Rb3+ 67.Kf4 Kd4 68.Ra8 Rf3+ 69.Kg4 Rf7 70.Ra4+ Ke5

0-1

互角の局面で急がず、不利になっても崩れず、相手の一瞬のスキを突き、怒涛の寄せで一気に土俵の外に押し出す。盤石の横綱相撲で南條は5戦5勝、全勝で優勝を遂げたのでした。絶対王者降臨。おめでとうございます！

最終結果

- 1位 南條遼介 (5p)
- 2位 Tran, Thanh Tu (3)
- 3位 青嶋未来 (3)
- 4位 馬場雅裕 (2)
- 5位 Scott, Tyler (1)
- 6位 山田弘平 (1)

こうして半年間にわたる大会NCS Sunday Cupは幕を閉じました。元々はコロナ禍でリアルな大会が開けない状況での代替策でしたが、日本のトップ選手のゲームを自宅に居ながらにして観戦できることや、外国に在住する選手も参加できること等、オンライン大会ならではのプラス面も多く発見できました。ポストコロナ時代には新たな展開が期待されます。日本チェス界の前途に希望を抱きつつ、まずは半年間、参加された選手の皆さん、運営スタッフの皆さん、観戦されたチェスを愛好する皆さん、お疲れ様でした！

(文：神田大吾)

NCS

理事 選挙

NCSでは現在新理事1名を選出する為に選挙を行っております。

「公正公平に理事の選出がオープンに行われること」を念頭に
選挙管理委員の元で選挙が遂行されています。

今回は選挙で重要なポイントをハイライトしたいと思います！

(選挙管理委員 黒坂 雄基)

立候補者

選挙に立候補しているのは下記の4名です。

- 権田源太郎
- 真鍋浩
- 小笠誠一
- 遠山玲央

自己紹介

<https://japanchess.org/wp-content/uploads/2021/11/introduce.pdf>

「立候補者に聞きたい、一問一答」

有権者に視聴を限定したライブ配信。有権者の皆さんから立候補者に対する質問を募り、立候補者に回答頂きました。

有権者の皆さんは選挙に関する案内のメールに視聴用URLがありますので、今からでもご覧ください！

推薦状

立候補者をよく知る推薦人による推薦状を今号のp.26に掲載しております。ご参考ください。

選挙当日の流れ

12月10日～12月31日の間の有権者の皆さんには選挙参加の意思表示を行って頂きました。

有権者約400名に対して133名の方から参加意思表示を頂きました。

選挙への参加意思表示をして頂いた皆さんに、Simply Voting (<https://www.simplyvoting.com/>)というWEBサービスを元に、**1/15 17:00頃**、選挙に投票するためのメールが届きます。

●投票期間…………… **1/15 17:00-22:00**

●投票結果発表…………… **1/15 22:30頃**

投票結果を選挙参加者宛に
選挙管理委員よりメールで案内
<https://japanchess.org/2021/11/election/>に掲載

選挙の結果、最多得票者1名が理事に選出されます。

※最多得票者が複数発生した場合など、イレギュラーについては先に有権者向けに案内しているメールを参照ください。

困ったときは？

メールが届かない・アクセスがうまくいかないなどのトラブルがありましたら、1/15 17:00-22:00 (投票期間中)は選挙管理委員がトラブル対応に右のZoom URLで待機しておりますので、お問い合わせをお願いいたします。

Zoomミーティングに参加する

<https://us02web.zoom.us/j/89650336658?pwd=dTRJVGV5weiMyQVRGQWpOR1BleTNQdz09>

ミーティングID: 896 5033 6658

パスコード: 631062

Simply Voting での投票方法

(日本語版もあります)

NCSselection
NCS (日本チェス連盟) 理事選挙
NCS representative election

NCSselection
Please select 1 candidate whom you wish to be the new NCS representative.
(Candidates are in alphabetical order)
This question is required. You may select one of the following.

NCSselection
This question is **optional**. You may select **one** of the following.

Gonda, Gentaro
 Manabe, Hiroshi
 Ogasa, Seiichi
 Toyama, Leo

Continue **Cancel**

選挙への参加意思表示をして頂いた皆さんに、Simply Voting (<https://www.simplyvoting.com/>) というWEBサービスを元に、1/15 17:00頃、選挙に投票するためのメールが届きます。

メールに記載のURLからアクセスするとこのような投票画面に飛びますので、希望する立候補者を選択し、Continueを押します。

NCSselection
Please review your choice carefully. Once this vote is cast by clicking "Confirm", you will not be able to change your choice.
NCSselection: **Manabe, Hiroshi**

Confirm **Change**

次の画面に移るので、内容に間違いがない事を確認してConfirmを押してください。Confirmを押すと、その後の選択肢の変更はできません。Changeを押すと選択をやり直すことができます。

Success
Your vote has been recorded. You may view your voting receipt below.

Current ballots
You are registered to vote in the following ballots:
Already voted - NCSselection

Voting receipts
You have voted in the following ballots:
[View Receipt - NCSselection](#)

Past ballots
[View Results - NCSTest](#)

Successの表示が出たら投票完了です！

NCS理事選挙 推薦状一覧

推薦：権田源太郎

チェス歴35年
会社経営 浜根謙一

権田さんと親しくさせていただくようになったのは、2008年、スロベニアで開かれたチェスオリンピックがきっかけです。それ以来、チェスの指導を受けたり経営のノウハウを教えてもらっています。

権田さんほど、日本のチェス会の歴史を熟知している人はいないでしょう。また、ご自身のチェス歴においても素晴らしい成績を残しておられ、真にレジェンド的存在です。

その彼が立候補すると聞き、まさしく機が熟したと思いました。彼が理事になれば、チェス発展のためにとっても役立つと思います。チェス会の変遷を振り返りながら、何をやればよいのか、どのように発展させるかといった運営方法をお持ちだと思います。

彼は長年の会社経営手腕により、人をまとめる能力に長けています。その能力を、協会の運営でも発揮してくれるのではないのでしょうか。また、彼には経済力のみならず、人脈も幅広く持っておられるので、今後の展開が大いに期待できると確信しています。

推薦：権田源太郎

慶應義塾大学総合政策学部教授
慶應義塾評議員・日本経済政策学会会長
小澤太郎

権田さんとのお付き合いは、私が他大学から慶應に戻った後にチェスクラブの顧問をお引き受けする頃にお会いして以来で

すから、およそ四半世紀になるかと思います。私が慶應義塾高校の3年生の時に六本木の国際文化会館でのチェス大会に出場した事をきっかけに、権田さんのご活躍を日本チェス協会の資料で読んで知った記憶があります。しかし、経済学部に進学後、たまたまチェスクラブに入会せず、非常に長い間チェスからは遠ざかっていました。ですから、顧問として権田さんをはじめとするチェスクラブのOBの方々とお会いできるようになった事を大変嬉しく思いました。

OB会会長でもある権田さんは、過去に12回全日本チャンピオンに輝いた、まさにわが国のチェス界におけるレジェンド的な存在ですが、お人柄は至って謙虚であり、かつ親しみやすくオープンマインドな方だと思います。ベテラン、中堅、若手、男女、日本人、外国人を問わず、権田さんと対戦した方ならどなたも感じている事だと思いますが、チェスに対する姿勢が真剣で、局後の検討の際には対戦相手と共に納得のいく良い手を探求していくのみならず、改めてチェスの楽しさをも感じさせてくれる「真に」コミュニケーション能力の高い方だと思います。

また長らく会社を運営されている事から、マネージメントのプロでもあり、組織運営に関しても大いにその手腕を発揮して頂けるのではないのでしょうか。NCSの理事という事になりますと、先ずチェスへの愛情が求められるのは言うまでもありませんが、会員は国内のトッププレイヤーから初心者まで様々であり、そうした方々に万遍なく満足して頂ける運営を行っていかねければなりません。そして新規会員数を増やす為の普及活動にも当然熱心でなければなりませんし、その為の実効性のある戦略を練れる人でなければ

なりません。さらにわが国を代表した立場でのFIDEとのやり取りもあるでしょう。この場合、語学力もさることながら、国際的に通用する見識が問われる事になると推察されます。こうした様々な能力を求められる大変な役職ではありますが、権田さんはボランティアの方々の方々の志気を高め、適材適所でサポートを受けながら仕事をこなしていただけるだけの優れたマネージメント能力を備えている方であると確信しています。

以上の事から、私は権田源太郎さんをNCSの理事として推薦する次第です。

推薦：真鍋浩

小島慎也

今回のNCS理事選で、真鍋浩さんの推薦人となりました小島です。この2年は新型コロナにより、大会や交流の機会も少なく、立候補者のことをあまり知らない会員のかたも多いかと思えます。そういったかたたちに向け、真鍋さんのことを私からご紹介させていただきつつ、今回の理事選に関して私の考えをお伝えできればと思います。

私も中学生の頃からチェスをしており、大会への参加も20年を超えるようになりました。真鍋さんとは中高生の頃から対戦、交流の機会があり、長いお付き合いになります。真鍋さんの第一印象は非常に誠実で、チェスに対しても真摯に取り組んでいる人だというものです。敗れた試合の後も冷静に検討戦に参加していただきますし、前日の試合内容について意見を交わし合うことも昔からありました。多少情勢不安のある国に試合に行った直後に心配して下さったり、旧団体である日本チ

チェス協会に上手く意見が通せず
に困っていた際に、間に入って
交渉して下さったりしたことを
よく覚えています。言葉を交
わし、交流を図っているのは私
だけでなく多くの人に対してで
あり、周囲を気にかけ、時にリー
ダーシップを取り、20年近く
日本のチェス界の中で尽力して
きた人です。

英語力やパソコン操作技能と
いったNCSが募集している理事
の条件とは別に、現在のNCSの
新しい理事にどういった人物が
ふさわしいでしょうか。私が思
うに、幅広い世代の声を柔軟に
聞き入れることができること、
語学力とは別に高いコミュニケ
ーション力と行動力があること、
NCSを動かしていくうえで
ビジネス的な観点を持っている
ことなどが重要です。それらを
踏まえたうえ、真鍋さんがこれ
まで日本のチェス界で積み上げ
てきた信頼や、銀行勤務の中で
培ってきた経営の知識、ノウ
ハウなどは、今後、理事として
NCSを任せるに相応しいものだ
と考えます。

NCSはまだスタートから日が浅
く、今後どういった発展を遂げ
ていくかは、今回の理事選が大
きな意味合いを持つと思います。
どういった人が理事を務める
団体であれば、多くのかたに安
心してチェスを楽しんでいただ
けるか。今回の理事選はそれを
真剣に考える良い機会だと思
いますので、私のこち
らでの意見がその一助となれば
幸いです。

推薦：真鍋浩

ヒーバート由美子

私と真鍋さんとのお付き合い
はNCSがスタートする以前から
となります。今に至るまでず
っと陰で支えてくれた強い存
在です。彼のことを知っている
方は彼の素晴らしさをご存知で
しょう。英語堪能、国際的経験
が豊富なことから物事を様々な
角度から見ることのできる方

です。金融関係にお勤めである
ため会計関係などにも詳しく、
NCSの会計関係などでも頼
りにできる方です。何よりも大
切なのは、彼の信頼性だと思
います。ご自分の意見をしっか
りと持ちつつも他人の意見をし
っかり聞き入れ、統合的に物事
を見て判断をする、そのような
力を持っています。

NCSは波乱の状態からスタート
しました。チェス界のためを
思いスタートしたNCSであ
っても運営の妨げになるような
行動を取ったりする方がいる
中、冷静に物事を見て私や初期
NCS発起メンバーを支えて
きてくれました。

チェスプレーヤーでありつつ
もプレーヤー以外の目線を持
った方であり、自分1人だけが
リーダーである、などと言う
意識ではなく、みんなと一緒に
チームの一員としてNCSを大
きくしていく存在です。理事
として必要な英語力も十二
分にあるため、FIDEとのやり
取りで必要とされるビジネス
レベルの英語であっても全く
問題なく任せられます。真鍋
さんがチェスの駒を扱うとき
の丁寧さ、マナーの良さなど
も大会で接してきている方
にはよくわかるでしょう。
真面目でありつつも気さく
でオープンに物事に対応でき
る姿勢はNCSにとって大きな
プラスです。

NCSは様々な方が集まった
団体です。チェスに対する意
識も様々です。しかしチェス
が好きな人たちが集まっている
ことは確かだと思います。そ
のような団体のリーダーとし
て相応しいのはチェスを愛
する気持ちを暖かく持ちつつ、
その周りで起こることを冷
静に見つめ、色々な観点から
状況を見て判断することが
できる人ではないでしょうか。
私自身そのようなことを意
識して今日までやってきた
つもりですが、大変難しい
ことでした。真鍋さんならば
それができる器量を持っている
方だと確信しています。

推薦：小笠誠一

石井伊知郎

私は小笠誠一さんを理事に推
薦します。

小笠さんは長年にわたりチェ
スの普及にいろいろと取り組
んできました。

具体的には、

1. チェスクラブの創設に関与
しチェスのできる環境を作り
出す。

柏チェスクラブ、静岡チェス
クラブ、千葉チェスクラブ。
現在千葉チェスクラブの代表
です。

2. チェスの初心者向けの指
導。チェスクラブ、教室、個
人レッスン等でチェスの底
辺の拡充に寄与する。

3. チェスの訳本を刊行。

中級者向けに戦略の本を訳し
チェスの持つ面白さを伝える。

これらの実績から小笠さんが
理事としてチェスの普及に
尽くすことが期待されます。
適任者だと思います。

INFORMATION

TOURNAMENT

新年チェス祭 New Year Chess Festival 1/16 (Sun)

東京さゆりあん・Open, U1500 4R
(30分+30秒/手)・NCS主催
申込: registration@japanchess.org
満員御礼、ライブ中継あり！

花金ブリッツ TGIF Blitz Tournament 1/21 (Fri)

Chess.com・7R スイス・ブリッツ
(3分+2秒/手)・NCS主催・月1回
のオンラインチェス大会・当日飛
び込み参加可！非会員でも参加自
由！無料！Everyone is welcome
to play.

その他

NCS新理事選挙 NCS Election 1/15 (Sat) 17:00 ~ 22:00

Simply Voting・詳細は24ページをご覧
ください。

いよいよ2月からは全国各地
で全日本チェス選手権の地区予
選が始まります。どの大会に何
回参加してもよいですから、次
のサイトをチェックしてみたく
ださい！

[全日本チェス選手権地区予選 2022](https://japanchess.org/2021/11/qualifier-tournament-2022/)

[https://japanchess.org/
2021/11/qualifier-
tournament-2022/](https://japanchess.org/2021/11/qualifier-tournament-2022/)



FOLLOW US & SUBSCRIBE US



日本チェス連盟 -
[National Chess Society of Japan](https://www.nationalchesssociety.jp/)



Right Mood, Right Move!

Chessmoodは、グランドマスター達がチェス愛好家に向け
開設したオンラインラーニングです。

チェスのスキルアップをしたい、単にゲームを楽しみたい、
そうした皆様にご活用いただけます。

高品質のビデオレッスンやウェビナーなど、
あなたのステップアップをお手伝い。

さあ、Chessmoodであなたのチェス力をアップさせましょう！

Chessmood is a place created by GMs for chess enthusiasts who want to improve
their chess skills or just enjoy this beautiful game. High-quality video courses and
webinars will empower you to step up to the next level. This is our mission, let us
help you to become a better player.

<https://chessmood.com>

STREAMING GUIDE

新しい年！新しいラインナップ！

ニューイヤーチェスではジャパンオープン以来のOTBの中継も予定しています。今回はライブ解説もつくかも？！また、これまでになかった新しい企画・番組を考案中です。YouTube、OPENRECどちらのチャンネルも登録、チェックを忘れずに！

JANUARY

01/08 (Sat)	20:00	YouTube	名局から学ぶ必修パターン
01/12 (Wed)	21:00	OPENREC	初中級者向け講座「Improve Your Chess!」 #1
01/16 (Sun)	20:00	YouTube	ニューイヤーチェス中継
01/19 (Wed)	21:00	OPENREC	「メインライン探訪」シーズン2 1.d4 #3
01/26 (Wed)	21:00	OPENREC	初中級者向け講座「Improve Your Chess!」 #2
01/29 (Sat)	20:00	OPENREC	Master Blitz FM山田弘平
01/30 (Sun)		OPENREC	IM 小島慎也のチェス講座

※上記は予定です。予告なく追加・変更・中止の場合があります。その他、配信スタッフによる突発配信なども行っています。

RECOMMEND



Sunday Cup Grand Final 2021

半年に渡る熱き戦いの末、グランドファイナルの頂点に登りつめた6人。見逃し放送として見るもよし、棋譜を並べながら振り返りとして見るもよし。日本のトッププレーヤーたちの圧巻のチェスをぜひご覧ください。



IM 池田惇多のチェス講座 「劣勢を覆せ！逆転するチェス！」

劣勢に立たされ、失うものは何もないような状況。そんなとき、あなたはどのプレーしますか？池田さんが大切にする4つのポイントとは？池田さんの実戦から、逆転するチェスを学びましょう。

編集後記 34

2022年にしたいこと

ヒーバート由美子

コロナの影響で本当に楽しめる旅行、というのができてないから2022年には楽しみたいなあ、と思っていますがどうかなあ。。。チャレンジとしてはOmicronにかからないこと！感染率を考えたら結構大変なチャレンジではありそうだけど、どこまで今の生活パターンを変えずに頑張れるか。あとはとにかく今まで通り毎日を大切に楽しむことですね！

黒坂雄基

チェスを取り巻く環境ではまだまだ出来ることが有りそうだな～と感じているので、発展させていきたいですね！あと個人的には時間の有効活用と人をお願いする力を身に付けていきたいですね。

山田明弘

チェスのネット環境が整いつつあります。そこで遊んでいたネット・プレイヤーが日本チェス界に続々入って来て驚きの好成績を残す、それが2021年でした。ひとりであれほど強くなるなんて以前は考えられませんでした。それが時代の潮流でしょう。大きな期待を込めて、その若武者が暴れまわれる舞台を用意してあげたい、そのために私たち先輩がやるべきことはたくさんあります。2022年も地道にがんばりたいです。

神田大吾

チェス大会参加を兼ねた旅行に行きたいです。今年こそ！

ごまめ

たくさん旅行へ行きたいですね！

りんごぼうず

カメラデビュー！月1で温泉に行きたい。月1で海外も行きたい（無理）

山内美加

いっぱい作品作るぞ！おー！

木下奏子

筋トレの再開。筋肉ムッキムキになりたい。

編集部

木下奏子・山田明弘・神田大吾・ごまめ・黒坂雄基・山内美加
りんごぼうず・ヒーバート由美子
(順不同)

発行

日本チェス連盟（一般社団法人 National Chess Society of Japan）

本誌に掲載された写真、イラスト、記事、棋譜の解説等について、無断転載および無断配布を禁止します。著作権はそれぞれのクリエイターにあります。